

公明党館山支部会報 瀬能 孝夫

◆ 議員活動報告 ◆

過去2年間の議会質問を通して、施策に取り入れられた項目は4点です。オリジナル出生届け、指定ゴミ袋の30リットル用の導入、主に認知症徘徊者を対象とした発信器を活用する行方不明対策で、こちらは研究段階です。

昨年9月議会では障がい者への公費助成について取上げ、市長自ら来年度予算に計上すると姿勢を示されました。具体的には、重度難聴者が利用する人工内耳装用者の対外装置の買い



新年の街頭演説をする瀬能議員と龍崎議員

替えや修理、電池交換等について助成をしてみました。10年ほどで買い替えなければならず、保険がきかない上に100万円ほどかかりますが、取り付け時の手術後はすべて自己負担です。

また、がんなどによって喉頭摘出した方が声を出すために必要な「埋込用人工鼻」についても2、3日で交換する消耗品であり、その交換にも保険が適用されず月に2、3万円もかかるため、その費用を助成できないか質問しました。ともに自己負担軽減への支援を約束されました。その際執行部からは、質問を通して障がい者のおかれている実態が分かったと感謝もされました。

さらに、市職員採用試験における障がい者への欠格条項について「自力通勤ができる者」としてある条件を、障害と能力は別のものであり撤廃するように求めたところ、見直すとの見解を示されました。

具体的な施策には反映されななくても、思い入れの強い質問もあります。南房総地域における外来生物への対応やイノシシの捕獲作業における狩猟者への負担軽減対策、併せてジビエ流通のための解体処理施設の建設、館山港多目的観光棧橋の活用な

どです。特に棧橋については、現行のマイナス7.5メートル岸壁からマイナス9メートルまで深くして、大型客船の誘致を図るよう訴えました。今後も、地域の発展と住民福祉の充実へ向け努力してまいります。

議会活動では、議会改革に取り組んでいます。市民の皆様の声の議会として広く受け止め、施策に反映できる体制づくりに努力しているところです。議会改革特別委員会委員長として重責を担い3年が過ぎようとしていますが、議員間の改革意識の開きもあり、その道においては険しい現実もあります。「市民に開かれた議会」を目指し、着実に前進させたいと決意しております。

平成27年4月に議会改革の一環として議会基本条例を制定、その10条の規定に基づき、年1回の単位で毎年10月に議会報告会を開催しています。今年で4回目の開催を予定しておりますので、党员、支持者の皆様も進んでご参加いただき、市政に対するご意見ご要望等、議会にご助言賜りたいと存じます。

様々な議員・議会活動を通して「住み良いまちづくり、館山に住んで良かった」と言っていただけのように、これからも精進してまいります。

◆ 行政一般通告質問 ◆

〈平成28年〉

第1回定例会

- 1、南房総地域における外来生物
- 2、オリジナル出生届け
- 3、指定ゴミ袋30リッター導入

第2回定例会

- 1、昨年の12月議会に引き続き大規模地震への備え

第3回定例会

- 1、廃棄されている食品の有効活用
- 2、子育て環境の包括的支援
- 3、ブックスタート事業

第4回定例会

- 1、ロタウイルス予防ワクチン接種助成
- 2、広域ごみ処理施設建設計画における本市の離脱
- 3、自治基本条例と館山市政治倫理条例の制定

〈平成29年〉

第1回定例会

- 1、イノシシの捕獲作業における狩猟者の負担軽減対策
- 2、主に認知症徘徊者の行方不明対策
- 3、まちの無電柱化の推進

第2回定例会

- 1、館山港多目的観光棧橋の活用

第3回定例会

- 1、聴覚・視覚障がい者等公費助成施策
- 2、新生児聴覚検査と市職員採用における障がい者への条件緩和

第4回定例会

- 1、有害鳥獣対策
- 2、人と動物が共生するまちの創出
- 3、人々の多様性を尊重する社会を目指す取組

公明党館山支部会報 龍崎 滋

◆ 議員活動報告 ◆

議員活動の2期目も余すところ1年となりました。初の立候補をした時は東日本震災直後の混乱した状況の中でした。初当選をした後の議員活動および議会質問は館山市の災害安全対策を、自主防災組織の充実などを主として多角的な防災対策等の取り組みを提案しました。その後は、教育や環境問題を取り上げましたが、私の一番のテ



『予算要望書』を金丸市長に提出する
龍崎議員と瀬能議員

マは館山市の産業振興と活性化対策の推進であり、自身の長年の農業経験や観光関連の活動を通して精力的に問題提起と政策提言を重ねてきました。特に私の公約として掲げた、市内産業の活性化のための流通拠点整備（道の駅構想）が、市の財政状況の悪化のために停滞していることは残念でなりません。「住みよいまち」は「元気に働けるまち」に他なりません。今後も粘り強く実現に向けて訴えていきます。

現在館山市は財政状況が悪化をしていると言われます。確かに近年の教育施設の耐震化や整備により財政の逼迫を招いたことは事実です。このような中、新学校給食センターの建設費23億円が高額すぎるとの指摘を、再度、見直しと修正をさせました。また、地域資源有効活用調査特別委員会では、市内の農水産業や商工、観光産業振興の基本理念とすべき『地産地消条例』の制定を提案し、ほぼ条例の案文が完成。現在はパブリックコメントの募集と市内事業者を対象に説明会を行っています。

少子高齢化、人口減少という地方自治体共通の課題について

いかに自治体独自の政策をもって歯止めをかけるか、地方創生の時代はまさに自治体の力量が問われる時に他なりません。このような時こそ、市民の代表である議員、議会が市民目線で行政にしっかりとした政策提案を行い、実現をしなくてはなりません。限られた財政力の中で、将来に繋がる、希望あふれるふるさとづくりのための予算配分をすることが議員の重要な仕事と思っております。

この7年の間に、総務、建設経済、文教民生の3常任委員会の委員長と、そして現在は議会運営委員長の要職を努めておりますが、常に議員個人の立場と同時に議会全体として、いかに議員力、議会力を高めるかを、議長をはじめ同僚議員と話し合っています。これからも、市民との対話を大切に、皆様の声を市政に届けてまいります。

◆ 行政一般通告質問 ◆

（平成28年） 第1回定例会

- 1、食のまちづくり拠点整備事業
- 2、国土強靱化基本法による市の対策

第2回定例会

- 1、学校給食センター整備事業
- 2、農業委員会改革
- 3、防災における自助、共助

第3回定例会

- 1、館山市の地域防災
- 2、館山市の学校教育
- 3、新学校給食センター

第4回定例会

- 1、第4次総合計画における農業振興策
- 2、避難所運営マニュアル
- 3、災害廃棄物処理計画

（平成29年） 第1回定例会

- 1、館山市の産業および観光振興策
- 2、ふるさと創生奨学金制度
- 3、館山市の地方創生事業

第2回定例会

- 1、館山市の政策形成基盤
- 2、「地産地消」、食のまちづくり計画の取り組み

第3回定例会

- 1、安房地域の広域連携による地域資源を活用した活性化策
- 2、館山市の産業振興の取組み

第4回定例会

- 1、館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるシテイプロモーション活動
- 2、館山市の農業振興策